



となん

【学校経営目標】

【目指す生徒像】

よりよい未来の創造と自己実現を目指し
学び活動する生徒の育成

【学校教育目標】

[知] 自ら学ぶ意欲を持つ生徒

[徳] 豊かな心を持つ生徒

[体] 健康でねばり強い生徒



さきやまようしょう

発行者：校長 崎山 用彰

☆下中だより「となん」は、
学校HPから閲覧可能→



「言葉が『世界』を広げる」 読書と映画鑑賞

前号では、「読書講話」の記事を掲載いたしました。

今回はみだしの「言葉が『世界』を広げる」に関連したお話させていただきます。



皆さんは、読書と映画鑑賞、どちらが好きですか？

どちらも物語を楽しめる素敵な体験ですが、特に本を読むことは、「言葉が『世界』を広げる」ことに関連していて、文字通り、言葉を通して一人一人の世界をぐんと広げてくれる力があると考えます。



読書では、作者が選び抜いた「言葉」一つひとつが、想像力の翼になります。文字だけを手がかりに、登場人物の細かい気持ちや、目には見えない風景、空気の匂いまで、「五感」で感じ取ろうとすることで、自分自身の感じる力や考える力が自然と深まっていきます。自分のペースで言葉とじっくりと向き合い、物語の世界を深く味わえることが読書の魅力ですね。

映画には、映像と音で物語の世界を直接見せてくれる迫力があります。でも、原作を読むと、映像では表現しきれなかった登場人物の心の声や、作者が「言葉」に込めた細やかな想い、物語の背景にある文化などを発見できることがあります。だから、映画を観て「面白かった！」と思ったら、ぜひ原作の「言葉」の世界にも触れてみましょう。また、逆に、本を読んで感動した物語が、映像ではどのように表現されるのかを観ることも、とても面白いです。「言葉」だけで想像していた世界と、映像になった世界を比較することで、物語への理解がぐっと深まることでしょ。



このように、読書も映画鑑賞も、皆さんを新しい世界へ連れて行ってくれる扉です。特に、たくさんの「言葉」を知り、その意味や使い方を学ぶことは、「世界」を広げ、生活を豊かにしてくれるでしょう。ぜひ、読書や映画鑑賞などを通して、色々な言葉と出会い、自分自身の世界をどんどん広げていきましょう！



余談になりますが、先日、沖縄本島に行った際、娘と「名探偵コナン 隻眼の残像 (フラッシュバック)」を鑑賞してきました。映画鑑賞はテレビもいいのですが、より迫力のある映像を映画館で観るのもいいですね。GWの過ごし方の1つに読書や映画鑑賞は、いかがでしょうか？

【お知らせ】

◎ 早いもので今週末から五月に入ります。「生活目標」を確認しましょう。

係活動を活発にし、
学習の習慣化を図ろう

☆ 係当番の役割分担と責任を果たそう

☆ 教室環境の整備をしよう
☆ 朝の活動(とんタイム)や、家庭学習の習慣化を図ろう

